

平成 24 年 7 月 11 日

株式会社中央コンピュータシステム
システムソリューション部
ソリューション 3G

PRIMERGY における電子帳票システム「トリニテート」動作検証報告

富士通社製 PC サーバ PRIMERGY 及び同社製ストレージシステム ETERNUS において、弊社電子帳票ソフト「トリニテート」の動作検証を行いましたので、結果をご報告致します。

記

1. 主旨

電子帳票システム「トリニテート」が仮想化環境のホット・マイグレーション機能に対応できるか検証を行った。

2. 概要

富士通社製 PC サーバ PRIMERGY 及び同社製ストレージシステム ETERNUS に VMware 社の仮想化ソフト VMware vSphere4.1 を導入し、電子帳票システム「トリニテート」の処理中に VMware vSphere4.1 のホット・マイグレーション機能である vMotion を実行し、動作確認を行った。

3. 検証期間・場所

2012 年 6 月 4 日(月)～6 月 15 日(金)

富士通 検証センター (東京、浜松町) Validation room 03-B

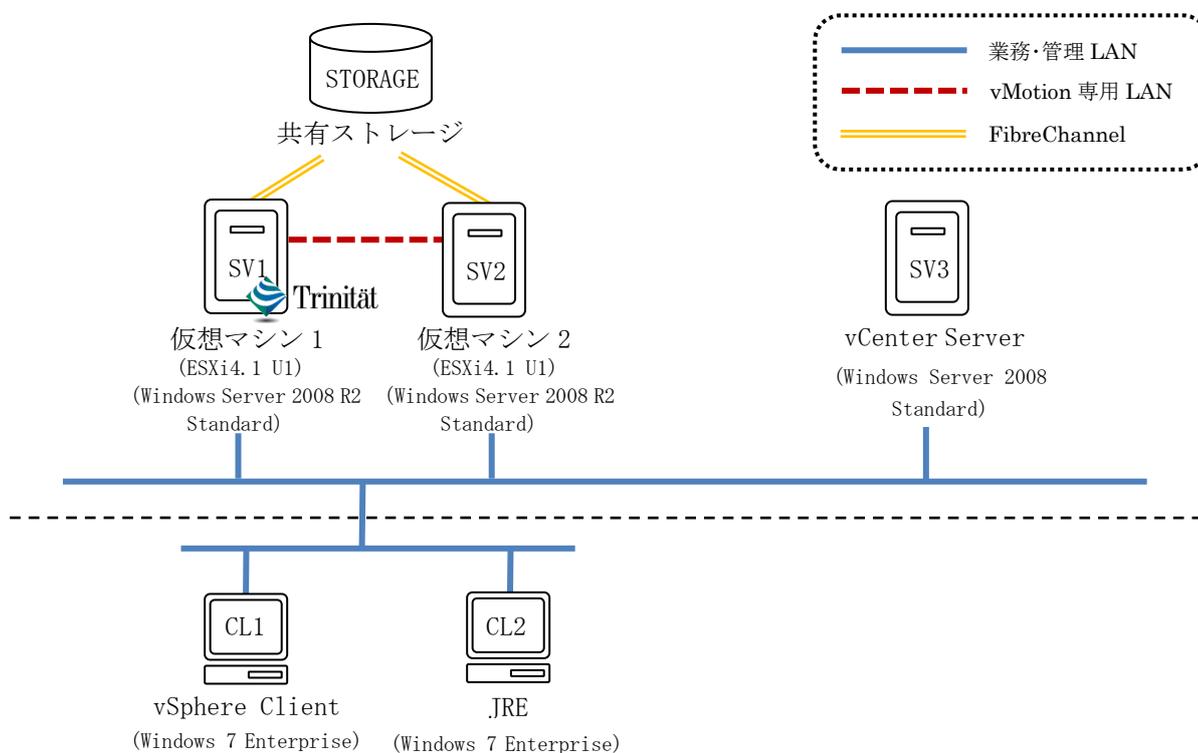
4. 対象ソフト

電子帳票システム「トリニテート」 Ver7.91

- BookMan (電子帳票を自動で作成するアプリケーション)
- ContentsMaker (電子帳票を格納するフォルダの情報を出力するアプリケーション)

5. 機器構成

機器構成を下記に記載する。



ID	機能	機種	仕様
SV1	仮想マシン 1 用 サーバ	RX30 0S6	<p>[SPEC]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CPU:Xeon X5680 3.33GHz/6 コア/12MB×2 ・ MEM:4GB×2 ・ HDD:900GB <p>[HYPERVISOR]</p> <p>VMware ESXi 4.1 《仮想マシン 1 (トリニテートサーバ)》</p> <p>[OS]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008 R2 Standard <p>[SW]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トリニテート Ver7.91
SV2	仮想マシン 2 用 サーバ	RX300S6	<p>[SPEC], [HYPERVISOR]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SV1 と同じ <p>《仮想マシン 2 (電子帳票配信用サーバ)》</p> <p>[OS]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SV1 と同じ

ID	機能	機種	仕様
STORAGE	仮想マシン 1,2 用共有ディスク	DX80 S2	[SPEC] <ul style="list-style-type: none"> ・ 450GB(2.5")10Krpm ディスクドライブ×48本 ・ キャッシュメモリ 2GB×2 コントローラ
SV3	vCenter サーバ	BX920S2	[SPEC] <ul style="list-style-type: none"> ・ CPU:Xeon X5670 2.93GHz/6コア/12MB×2 ・ MEM:4GB×2 ・ HDD:600GB [OS] <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2008 R2 Standard [SW] <ul style="list-style-type: none"> ・ vCenter Server 4.1 Update1
CL1	vSphere クライアント	LB-E780A	[SPEC] <ul style="list-style-type: none"> ・ CPU: Core i7-620M(2.66GHz) ・ MEM:4GB ・ HDD:320GB [OS] <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 Enterprise [SW] <ul style="list-style-type: none"> ・ vSphere Client
CL2	iRMC 操作クライアント	LB-E780A	[SPEC], [OS] <ul style="list-style-type: none"> ・ CL1 と同じ [SW] <ul style="list-style-type: none"> ・ JRE(iRMC 操作)

6. 検証内容

電子帳票システム「トリニテート」の BookMan 及び、ContentsMaker の動作中にホット・マイグレーション(vMotion)を実行し、その後「トリニテート」の処理が継続されているか確認を行う。

尚、ホット・マイグレーションを行うタイミングは下記の通りである。

- BookMan : 電子帳票の「構築受付」、「構築」、「配信」処理の処理前～処理後。
- ContentsMaker : フォルダ情報出力処理の処理前～処理後。

7. 検証結果

動作検証を行った結果は下記の通りである。

- BookMan : 問題なし。
- ContentsMaker : 問題なし。

8. お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせ先は下記にお願い致します。

株式会社 中央コンピュータシステム システムソリューション部 ソリューション3G

〒212-8564 神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地 2 興和川崎西口ビル

TEL : 044-540-6866

FAX : 044-540-6876

※本文記載の会社名、製品名等は各会社の商標又は登録商標です。

以上